主な修正内容について

頁	修正前	修正後
全体	「子ども」表記	「こども」表記
13	特に 55～59 歳、60～64 歳	特に <u>25～29 歳</u> 、55～59 歳、60～64 歳
40	社会のあらゆる分野における全ての構成員が、 全ての子どもの健やかな成長を…	社会のあらゆる分野における全ての構成員が、 (中略)全ての子どもの健やかな成長を…
	鈴鹿市総合計画 2031(抜粋)	鈴鹿市総合計画 2031
47	(12)一時預かり事業(幼稚園型) 3～5歳(主に在園している児童)	(12)一時預かり事業(幼稚園型) 3～5歳(主に <u>在籍する幼児</u>)
	(12)一時預かり事業(幼稚園型以外)	(12)一時預かり事業(<u>幼稚園型を除く</u>)
	(18)妊婦等包括相談支援事業 妊婦及びその配偶者並びに子ども及びその保 護者	(18)妊婦等包括相談支援事業 妊婦及びその配偶者等
63	2020(令和2)年度から 2022(令和4)年度	2020(令和2)年度から <u>2023(令和5)年度</u>
64	2020(令和2)年度から 2022(令和4)年度	2020(令和2)年度から <u>2023(令和5)年度</u>
65	2020(令和2)年度から 2022(令和4)年度	2020(令和2)年度から <u>2023(令和5)年度</u>
73	放課後児童支援員:2015(平成 27)年度から 新しく創設された放課後児童クラブの支援員の ための専門資格。	放課後児童支援員:2015(平成 27)年度から 新しく創設された、 <u>放課後児童クラブなどで小 学校に通うこどもたちを預かり、安心して過ご せる遊びや生活の場を提供し、その成長を見守 る専門職。資格を取得する必要がある。</u>
81	「新・放課後子ども総合プラン」(2018(平成 30)年9月策定、以下「新プラン」という。)を策 定し、	「新・放課後子ども総合プラン」(2018(平成 30)年9月策定)を策定し、 <u>また、2023(令和 5)年 12 月に「放課後児童対策パッケージ」を とりまとめ、</u>
	全国的に放課後児童クラブの受け皿整備が進 んでいる一方、放課後児童クラブのニーズのさ らなる増大や、新型コロナウイルス感染症によ	<u>この結果、全国的に受け皿整備が進み、令和6 年5月1日時点で放課後児童クラブの登録児童 数は、国の目標値である約 152 万人に近接す</u>

	<p>る人材確保や実施場所確保への影響により、国において目標としていた受け皿整備目標の達成が困難な状況となっています。</p> <p>放課後児童クラブの待機児童は全国で約1.6万人いることから、全ての子どもが放課後を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができる場所の拡充は、喫緊の課題となっています。</p> <p>このような状況を踏まえ、国は放課後児童対策を一層強化し、子どものウェルビーイングの向上と共働き・子育ての推進を図るため、2023(令和5)年度から2024(令和6)年度に集中的に取り組むべき対策として、2023(令和5)年12月に「放課後児童対策パッケージ」をまとめました。</p>	<p>る151.9万人に至ったものの、受け皿整備に伴う潜在的な需要の換気等による放課後児童クラブに対するニーズの増大により、待機児童数は全国で1.8万人いることから、全ての子どもが放課後を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができる場所の拡充は、引き続き喫緊の課題となっています。</p> <p>こうした状況を踏まえ、国は2024(令和6)年12月に「放課後児童対策パッケージ2025」をとりまとめ、待機児童対策の一層の強化を図っています。</p>
	<p>「新・放課後子ども総合プラン」の終了後も、「放課後児童対策パッケージ」を踏まえ、引き続き、継続的かつ計画的な取組を推進する観点から配慮する事項として、市町村が計画に盛り込むべき内容等が示されました。</p>	<p>放課後児童対策に関する継続的かつ計画的な取組を推進する観点から配慮する事項として、市町村が計画に盛り込むべき内容等が示されました。</p>
		<p>放課後児童対策パッケージ2025の注釈を追加</p>
83	<p>「確保方策 放課後児童クラブの量の見込みと確保方策」参照</p>	<p>「②量の見込みと確保方策」参照。</p>
89	<p>養育費の月額について、2021(令和3)年度から2023(令和5)年度にかけて6割以上が「3万円以上」となっています(図表6-3)。</p>	<p>養育費の月額については、次のとおりとなっています(図表6-3)。</p>
	<p>図表6-3</p>	<p>図表6-3 (養育費の金額区分の変更)</p>
103	<p>資料編「1 策定経過」</p>	<p>資料編「1 策定経過」 第●回会議の列を削除 子ども・子育て支援事業に関するアンケート調査について審議した会議の追加</p>
	<p>「2 鈴鹿市子ども・子育て会議委員名簿」</p>	<p>「2 鈴鹿市子ども・子育て会議委員名簿」 委員の氏名等を追加</p>

※同じ内容の修正や、誤字脱字などの簡易な修正については、省略しています。